

残暑が続きましたがようやく涼しくなってきました。冬に入る前に一度は行って見たかった襟裳岬へと出かけましたので紹介いたします。

皆様も森進一の『襟裳岬』一度は耳にしたことがありますよね。札幌からは210km程ですが高速・バイパスが半分しかなく約4時間かかります。雪は少なく割と温かい地区です。途中所々にサラブレッド牧場があるなど、観光する場所が多くあります。

海沿い国道をひたすら走り、ようやくえりも町に到着しました。駐車場近くにまず『風の館』と言う施設があります。有料ですが襟裳岬について様々な紹介や展示がある施設です。すぐ隣に襟裳岬灯台があり、こちらは明かりを遮断しないよう地下に埋もれるように設計されている珍しい施設です。施設内は襟裳岬に生育しているゼニガタアザラシについての情報が溢れていました。展望ルームからはアザラシウォッチングが出来、今回もアザラシを見る事ができました。

遊歩道を歩いて10分程で襟裳岬突端へ到着。やはり風が強く吹いていましたが、景色は素晴らしく一面海しか見えないところに感激しました。

皆様にお勧めする場所の一つです。

札幌営業所(所長:利川 光浩)

皆様いかがお過ごしでしょうか。

今回は愛知県常滑市の常滑ワイナリーを紹介いたします。愛知県でワインと聞いてピンとこない方も多いと思いますが、ここは知多半島の常滑市の国家戦略特区に設立されたワイナリーです。(ビール派の私は当初、関心が薄かったのですが…)

日本のワインというと山梨県などが思い浮かぶと思いますが、日本のワイン作りでは珍しい温暖な太平洋側でワインを生産しており、常滑焼でも有名な常滑の土で作るワインは酸味・旨味が強いのが特徴のようです。(私もワインには疎いので味の違いが、はっきりお伝え出来ませんが…)

醸造所、ぶどう畑とともに、レストランも併設されており、ここでは予約制でワイナリーツアーも行われています。15分のツアーと30分のツアーがあり、ワイン・食事を楽しむのと合わせ、醸造施設やブドウ畑の見学もできるようになっています。

愛知県のワインを試しに、皆様も一度足を運ばれてはいかがでしょうか。

名古屋営業所(所長:高橋 鉄夫)

KOYORAD

世界の拠点から
-From the base in the world-



ようやくコロナ感染者数も2ケタ台となり、時短営業も解除となつて、コロナ前の生活に戻りつつあるこちら東京ですが、それでもまだまだ油断できない状況に変わりはなく、通行人を避けて通る現状で寂しい限りです。しかも毎日マスクをつけているので、キツキツのくちばしが長くなったように、このままいけばこの先マスクありきの顔つきになってくるのではないかと、眠れない毎日を過ごしている今日この頃です。

さて、そのようなときだからこそ、一番落ち着く場所である海を探しに、千葉県のみなほ三番瀬海浜公園へ行ってきました。実は会社の近所なのですが、一度も行ったこともなく、今回が初めての入園でした。結構広くて、テントやレジャーシートを広げてくつろいでいたり、好きな音楽をガンガン掛けて寝ている人がいたり、いろんな人がそれぞれ好きなことをして遊んでいました。私は、小さな椅子をもって、そこをすうと通過して砂浜を目指しました。ようやくたどり着いた景色は、大好きな景色で、「これは落ちつくな」と持ってきた椅子に腰を下ろして、目を閉じしっかりとリラックスして、またあたたかいコーヒー飲みながら本を読み、くつろぎました。

ここは抜群にお勧めです。

東日本物流センター 東日本営業本部(センター長:木下 敦裕)

コロナ禍、長かった緊急事態宣言がようやく終了。まだまだ気は緩められませんが、気持ちの上では前向きになりますよね。密にならない程度にどこか出かけようかと考えるエアー観光(笑)もいいですよ。

地元兵庫県では神戸の象徴『神戸ポートタワー』がありますが、営業を終了したとの告知あり。はじめ、ラジオでその部分しか聞いていなかったのがビックリしましたが、よく聞いてみると改装の為2年間ほど長期休業との事。5Fの展望室からは海側と山側があり、六甲山の途中までの家々が続く景色は昼も良いが夜景は最高にキレイ。以前、六甲山山頂からは景色を見ましたがポートタワー側からは見たことが無かった為、残念。

コロナ禍もあと数回波があるかもですが、令和5年には落ち着いていると思いますのでリニューアルオープンを楽しみに待ちましょう。

大阪営業所(所長:藤谷 弘行)

緊急事態宣言が発令される前のある休日ですが、佐賀県武雄市の御船山楽園へ行ってきました。今回はこの御船山楽園をご紹介します。この御船山楽園は300万年続く自然に囲まれた中の50㎡にも及ぶ敷地につくられ、桜、つつじ、あじさい、大藤、もみじと季節によって色々景色を楽しめる大庭園です。特に見ごろである4~5月は御船山の切り立った断崖を背景に約20万本のクルメツツジ、ヒラドツツジが花開かせ、正に絶景と言える景色が楽しめます。

当日、久留米市で少し用事を済ませた帰りにドライブがてらの観光。つつじの時期は大幅に過ぎていましたが、辺り一面は綺麗な深緑です。ところどころにあじさいが満開に咲いており、『THE夏』という感じです。ただ残念なことが、コロナの影響か、点在する茶屋やお土産屋は全て休業中で少し寂しい。来園している人も少ないのでこれまた寂しい雰囲気です。コロナが流行る前は沢山の来園者で賑わっていたんだろうなと思いつつ目的の断崖のふもとに着くと、そこにはつつじを敷き詰めた緑のじゅうたんです。つつじ満開の時に来園しなかったことが悔やまれる風景でした。

ちなみに夏場ですが、夜には隣接する御船山楽園ホテルとチームラボのコラボで展示会もされています。名前は『チームラボ かみさまがすまう森』。自然とデジタルテクノロジーの融合、長い時間の連続性の上にある生命を表現、サステナブルでイノベティブな未来をアートで体験できるものらしいです。次回は夏の夜に来るか、それとも春先の絶景を見に来るか…。コロナが落ち着いたら、また行ってみます。

福岡営業所・沖縄配送センター(所長:江頭 慎司)

インドネシアではコロナ感染率が大幅下がり、住民たちは安心してます。ショッピングモールなどはほぼコロナ前に戻った感じです。

モールに入る前に必ずワクチンを接種したかどうか確認され、証明ができてからモールに入れます。証明出来なければそのモールに入れないです。

政府指示の下で、3週間前からKJIも各社員、必ずQRコードをスキャンして、ワクチン接種を証明してから入っています。もちろんKJIだけではなく、周りの他社も義務化されています。QRコードをスキャンした結果は、政府が管理しているソフトウェアに繋がり、接種状況が見られるようになりました。携帯番号でワクチン接種の指摘ができるようになってから、国民は自発的にワクチン接種するようになってきました。現在、インドネシア全体で約90%がワクチン接種したと言われてます。KJIの社員は約97%がすでに接種済みで残りは12月までにやる予定です。

第三波が年末あたりに来るのではないかとされていて、国民は不安を隠せません。

KJI(インドネシア)(工場長: S.Akhyar)

～プロの目はごまかせない～

アルコール度数50%以上。中国の伝統的なお酒『白酒』は全国各地で造られ、一本数百円のものから数百万円の高級酒まで様々です。高級酒として名高い銘柄が貴州省の茅台酒です。300年以上の歴史を持ち中国酒の中でもとりわけ特別な白酒と言われます。ところがこれだけ高級酒となると巷で出回るのが偽物酒。違法偽造酒や空箱、空瓶を使った偽物などが後を絶ちません。一方、高級酒の買い取り業者も多く、電話一本で引き取りに来てくれます。それゆえ投機の対象になってしまう側面もあるのです。

私の部屋にもたまたま昔の頂き物が1本あり、興味本位で電話をしてみました。製造番号などを確認し、最初の提示価格がなんと2,600元(約4万円)! そんなにするの? 度数が高すぎて自分で飲むことはない、じゃあ売ろうと。するとそこからさらに厳しく鑑定です。どうやら偽物ではない様子。ボトルを振って音を聞き、さらに匂いをチェック。光を当てて液量やアルコールの状態を確認。これでお酒の状態がかなりわかるのだそうです。結局最終価格は1,200元に。アルコールのうま味成分が少し抜けており、液量も減っているのだとか。「どこで保存していた?」と聞かれ、窓際に置いていた、と言うと「それがダメなんだ!」と逆に注意されてしまいました。こんな世界でもプロの目はごまかせないのですかね。

さざんさん買い叩かれたのですが、ちょっとした社会勉強になりました。

KHE(中国・蘇州)(総経理: 山本 博史)

アメリカでは秋はスタートの季節です。新学期が始まり、街全体も若者を中心に賑わっているように感じます。フットボールも高校、大学、プロフットボール(NFL)が始まりました。去年はNFLを除き(無観客にて開催)ほぼ中止となり、寂しかったですが、今年は2年前と変わらずスケジュール通りに行われています。通常カレッジは土曜日、プロの試合は日曜日に行われているのですが、ディビジョン1に属している大きな大学の試合になると7~10万人の観客がスタジアムで観戦します。勿論テレビでも中継されていますが驚いたことに観客10万人の密状態でマスクを着用している人を見る事はできません。ベンチの監督やスタッフもノーマスクです。感染対策はどうなっているのでしょうか?非常に不安です。

当然の結果ですが、新規感染者数も昨年同様に増え続けています。因みに最近の人口あたりの新規感染者数を比較するとアメリカが日本の約7倍だそうです。ワクチンの接種率も先進国の中で一番低くなってしまいました。しかし、全米ではすでに国民の12%以上の感染が確認

されていて無症状の感染者数を合わせると抗体保有者はかなり高いと考えられています。

アメリカではもう経済的にも我慢の限界で後戻りはできない状況なのでしょう?しかし、その一方で公務員やエッセンシャル・ワーカーに対してはワクチン接種を義務化にしました。また、100人以上の従業員がいる企業に対しても大統領令にて先日ワクチン接種の義務化(或いは毎週のPCR検査)を実行しています。ロサンゼルス郡では教職員も義務化になり、いくつかの地区では12歳以上の生徒にも接種か、リモートの選択をさせているようです。さらにカリフォルニア州ではバーやレストラン、ジム、映画館などでワクチン接種証明或いは感染の陰性証明の提示を求める事を進めているようです。

アメリカではこれからハロウィン、収穫祭、クリスマスの季節を迎えますが、どうなっていくのでしょうか?本当に大変な世の中になってきましたね!

KCS(アメリカ)(COO: 板垣 仁志)

マクリッチは、運動(ジョギング、ウォーキング、カヌー)や貯水池などの機能を兼ね備えた自然公園です。毎日たくさんの方が訪れ運動をしたり、自然を楽しんだりしています。ルートによっては、一周11km以上の大きなコースを歩くことができます。一部丘になっていますが、ほとんどの人はポールなしで歩くことができます。

木々の間や、貯水池と公園の間に作られた遊歩道を通して、この自然公園を歩くことができます。貯水池横の遊歩道は、距離は長くなりますが平坦な道。公園内の遊歩道は距離は短くなりますが丘陵になります。

より快適にするため遊歩道の改修は必要ですが、場所によっては自然を優先しなければいけません。木は貯水池に向かって水平に成長するため、通過するには階段を昇り降りする必要があります。自然ファーストは、この公園の象徴で非常に重要です。私もこの考えに賛同し、そのような行動に感謝しています。

KIO(シンガポール)(E.Wong)

必須だったソーシャルディスタンス1.5m測定がなくなりました。これは大きな前進です。政府によるとワクチン接種率は現在、1.5m測定がなくても十分な接種率ですが、無条件でこれを行うほどではないそうです。

政府は1.5m測定を廃止する代わりに、新しくコロナパスを導入しました。コロナパスをお持ちの13歳以上の方は、すべてのケータリング施設、フェスティバル、コンサート、スポーツ大会、映画館、劇場などの屋内イベントに参加できます。完全にワクチン接種が完了している、有効な回復証明書を持っている、24時間以内のテスト結果が陰性の場合、コロナパスを取得できます。

コロナパスの導入に誰もが満足しているわけではありません。先日、アムステルダム中心部で約25,000人がデモに参加し、コロナ政策に不満を示しました。また、最近、レストランでコロナ抗議がありました。オーナーは、コロナチェックアプリの使用者・不使用者を区別するため、お客へのコロナパス確認を拒否しています。

ワクチンを接種した人に特権があり、接種していない人は社会にとって『危険』と見なされます。憲法第1条にすべての人が平等に扱われ、いかなる理由であれ差別を禁止するとあります。この価値を大切にするために、政府の政策に対し平和的に不満を示すべきです。

KIO(オランダ)(Marvin de Laat)